

景気テコ入れ策

田中 修

はじめに

李克強総理は4月2日国務院常務会議を開催し、3項目の景気テコ入れ策を決定した。これは1-3月期のGDP成長率の鈍化が見込まれることへの対応であろう。以下は会議の概要である（新華網北京電2014年4月2日）。

現在、内外経済情勢は依然錯綜し複雑であり、安定の中で前進を求め、改革・イノベーションを行うことを堅持しなければならない。今年の「政府活動報告」で確定した任務に基づき、マクロ・コントロールの方式・方法を更に刷新し、企業の活力を奮い立たせ、内需を有効に拡大し、就業・起業を促進する等、現在を利し長期に恩恵が及ぶ政策措置を引き続き打ち出さなければならない。財政・税制・金融等の支援方式を刷新し、各種のプレッシャー・リスク・試練に積極的に対応し、改革促進・構造調整・民生優遇が協同して並び進むなかで成長を安定させ、わが国の経済の将来に向けた安定化を推進しなければならない。

（1）小型・零細企業への所得税優遇政策拡大の検討

小型・零細企業は起業を促し、雇用を維持し、市場を活性化させるための強力な新勢力である。会議では、更に税負担を軽減し、小型・零細企業の成長を助力する措置を検討し、**小型・零細企業の企業所得税課税を半減する優遇政策の実施範囲の上限を、現行の課税対象年間所得額6万元から更に大幅に引き上げ、かつ政策の終了期限を2016年末まで延長¹すること**を提起した。

（2）バラック地区改造への開発金融支援の役割を一層発揮

バラック地区の改造を加速し、億万の住民を早期に「バラック地区から建物に移す」ことは、民生改善のハードな任務であり、投資を有効に牽引し消費を促進することもでき、人を核心とした新しいタイプの都市化の重要な内容である。

今年バラック地区の改造を更に大規模に推進し、資金保障というかなめの問題にしっかり取り組まなければならない。政策支援と市場メカニズムを有効に結びつけ、とりわけ**国家の信用に依拠し、国家戦略に奉仕し、資金運用において元本保証・低利である開発金融の「輸血」作用を好く発揮させ、バラック地区改造のために合法・操作が便利・コストが適切・資金源の安定した資金調達ルートを早急に提供し、バラック地区改造任務の資金需要を保証し、資金コストの低下に努力しなければならない。**

¹ ゴチックは筆者。

国家開発銀行は専門機関を設立し、独立採算制を実行し、市場化方式を採用して住宅金融特別債券を発行して、郵貯等金融機関とその他投資家から資金を集め、商業銀行・社会保障基金・保険機関等の積極的参加を奨励し、バラック地区の改造及び都市インフラ等関連プロジェクト建設に重点的に用いる。

(3) 鉄道投融资体制の改革・鉄道建設の加速

鉄道とりわけ中西部鉄道建設の加速は、有効な投資を拡大し関連産業の発展を牽引できるのみならず、新しいタイプの都市化、未発達地区の発展環境の改善、千百万人の貧困脱出支援に資するものである。今年、全国鉄道は新規投資建設 6600 キロ以上が見込まれ、昨年より 1000 キロ余り増えており、うち国家投資の 80%近くが中西部地域に向けられている。

鉄道投融资体制改革を深化させ、建設資金を集め実施する政策措置を次のように確定する。

① 鉄道開発基金を設立し、建設資金源を拡大する

社会（民間）資本の投入を吸収することにより、基金の総規模が毎年 2000—3000 億元に達するようにする。

② 鉄道建設の債券発行の品目・方式を刷新する

今年は社会（民間）に向けて 1500 億元を発行し、鉄道債券投資への所得税優遇政策を実施する。

③ 銀行等金融機関が鉄道建設を積極的に支援するよう誘導し、社会（民間）資本の投資規模を拡大する

④ 鉄道が担う公益的・政策的輸送任務に対し、中央財政は一定期間補助を与え、規範的な補助制度を徐々に確立する

⑤ 統一的な企画・協調を強化し、プロジェクト建設の順調な実施を保証する

既に許可の下りたプロジェクトの全面着工を早急に推進し、後続プロジェクトの前期分の建設をできるだけ速く展開し、鉄道建設投資の安定的な伸びと鉄道建設の早急な推進を確保する。

(備考)

上海証券報 2014 年 4 月 3 日によれば、今年のバラック地区改造は 470 万戸以上であり、少なくとも 4700 億元以上の投資を牽引する。今年の鉄道建設の元々の投資計画は 6300 億元であり、この合計でも 1 兆元以上の投資を牽引することができる。また、現在税制優遇を受けている小型・零細企業は 120 万社を超える。

(4 月 4 日記)